

投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 森脇 康仁 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	------------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	2.5 億円
		通常砂防事業 しみずだに 清水谷川		内用地補償費	0.55 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
西宮市 山口町 ^{ひなさか} 船坂			19年度	19年度	22年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、渓岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、西宮北有料道路、(主)大沢西宮線及び災害時要援護者施設である介護老人保健施設を保全する。			・砂防えん堤工 2基 (H = 11.5m, L = 66.0m) (H = 10.5m, L = 46.0m) 〔負担割合 国:1 / 2、県:1 / 2〕		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 安全、安心		<ul style="list-style-type: none"> 清水谷川は土石流危険渓流である。 渓岸の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 溪流勾配は1/6と急で、渓岸の浸食が激しく土石流発生の危険性が高い。 保全対象:人家 = 63戸、公共施設 = 西宮北有料道路、(主)大沢西宮線、市道、介護老人保健施設ふるさとの家(災害時要援護者施設、入居者数80名)、西宮市水道局船坂配水所、神戸薬科大グラウンド、田畑 = 13.0ha (保全戸数は89戸) 			
地域の活性化		<ul style="list-style-type: none"> 砂防えん堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、第2次緊急輸送道路である西宮北有料道路と(主)大沢西宮線を保全することにより、物流交流のネットワークの確保に寄与する。 			
快適性・ゆとり		<ul style="list-style-type: none"> えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。 			
その他		<ul style="list-style-type: none"> 地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。 			
(2)有効性・効率性 有効性		<ul style="list-style-type: none"> 人命・財産(人家63戸)、第2次緊急輸送道路である西宮北有料道路、(主)大沢西宮線、市道、災害時要援護者施設である介護老人保健施設ふるさとの家、西宮市水道局船坂配水所及び神戸薬科大グラウンドが保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。 			
効率性		<ul style="list-style-type: none"> 地元からの要望が強く、市等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> 県道等からの視認性を考慮し、化粧型枠等により周辺景観に配慮する。事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> 土石流の想定被害区域には人家63戸のほか第2次緊急輸送道路である西宮北有料道路、(主)大沢西宮線及び災害時要援護者施設である介護老人保健施設ふるさとの家がある。 流域状況は急峻な地形と相まって荒廃が進み、土砂流出の危険性が高く、船坂地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。 			